

# 令和2年度事業報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

## I はじめに

### 1. 建設産業の施策等の現状と取組み

2020年度は、新型コロナウイルスの世界的流行の影響を受け、東京オリンピック・パラリンピックの1年延期決定からのスタートとなりました。

建設産業は、国民生活に直結する社会資本整備や発注者の納期・工期の要望を満たす必要等から新型コロナ対策のための営業自粛や現場閉所等の要請からは除外され、新型コロナ感染症予防対策を施した現場施工ガイドラインを作成・遵守することで施工を継続し、戸建て住宅等一部に建材の納入遅延や施工延期が聞こえつつも、概ね予定事業を施工し現在に至っているものと考えています。

また、本年度から本格的に運用が始まった特定技能外国人労働者制度は、新型コロナ感染症拡大防止対策の影響をもろに受けた形となり、受入目標を下回る状況となっています。

建設業の担い手不足は、数年来の我が業界の喫緊の課題であることは共通認識となってこれに取り組んでいます。国内の働き方改革推進の流れの中、若者の我が業界への新規入職は苦戦を強いられています。国土交通省においても、建設産業政策2017+10の策定以降、いわゆる「担い手三法」の改正など建設産業の担い手確保のための諸々の施策が展開されています。昨年11月の国土交通大臣と建設産業4団体（日建連、全建、全中建、建専連）との意見交換において、担い手の確保や職人の処遇改善に向けた「官民施策パック」の柱に建設キャリアアップシステムの推進を位置づけ、官民一体で当該システムを積極的に稼働させることによって、業界の目標達成に繋がるよう努力していくことが確認されたところです。

当会においても、平成30年第17回総会において将来を担う若者が希望を持って入職できる環境整備、健全な建設産業を目指すための決意表明として、技能労働者の直用化、安値での取引禁止、月給制への移行や週休二日制導入に向けた取組等を含む5項目に亘る決議を行って以降、建設技能労働者の適正な処遇を実現することが若者の入職意欲に繋がるものとして諸活動を実施してきました。また、建設キャリアアップシステムの推進では、本年度総会においてCCUSカードの全員取得を申し合わせて、会員団体とともに積極

的に取り組んで参りました。

こうした中、新型コロナ対策のための在宅勤務・外食自粛要請などが、広く各種業界の経済活動に悪影響したことが、民間工事の発注者となる業界や個人にも波及し、予定工事の中止や延期による工事量の減少が見込まれることに加えて、一連のオリンピック関連工事が終了したことも重なり、請負金額のダンピング行為が地方から散見されていることが、建設業界の大きな懸念材料となっています。一方で、公共工事については、国土強靱化対応の「3か年緊急対策」の終了を受け、昨年12月に「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」が閣議決定され、向こう5年間に概ね15兆円規模の対策工事が見込まれており、これの迅速で確実な施工に対する期待に込めていかなくてはなりません。

建設技能労働者の処遇改善の道筋に対して、ダンピングによる請負は大きな障壁となることは、過去に苦しい経験をしています。現場管理費や社会保険費用の適正確保と併せてダンピング防止に対しても、元請企業団体とともに取り組んでいく必要を生じています。令和3年2月に開催された「公共工事情品質確保に関する議員連盟総会」に対して、元請団体及び建設関連業団体と共に公共工事設計労務単価のアップ等について要望を提出いたしました。その後、施策の配慮の下、本年度の同単価の発表があったところです。今後は、現場労務費の上昇に反映されるよう専門工事業の経営者として努力していくこととなります。これについては、本年3月に開催された前出の国土交通大臣と4団体意見交換同意見交換会においても、徹底的に請負金額のダンピングを排除し、現場職人の給与改善を実現していくことが確認されているところです。

## 2. 建専連の事業活動について

本年度の事業活動は、令和2年度事業計画は、国土交通省の本省及び各地方整備局等と建専連・地区建専連との意見交換会の実施、各地区建専連での経営革新支援研修会の実施、全国大会の開催のほか、当会の活動施策や活動方針の策定等のための総務部会、企画委員会、特別委員会の開催及び各種の受託事業の実施、総合補償制度への加入促進、広報活動等など平年度ベースで計画いたしました。新型コロナウイルス感染症予防のための「三つ密」や「五つの小」を基本とした感染予防対策実施した上で開催する場合のリスクと比較考量の結果、可能なものは予防策を講じつつ実施いたしました。通常総会を书面開催としたほか、計画されたイベントについては、ほとんどが中止の判断をせざるを得ませんでした。

国土交通省との意見交換及び各地区建専連の経営革新支援研修会は、密の回避、国内移動の制限等の観点から中止の判断をいたしました。開催してい

れば議題となる要望・意見については、国土交通大臣はじめ各地方整備局等の部局長あて「令和2年度要望書」にまとめ提出いたしました。

経営革新支援研修会については、地域間移動の自粛の観点から本部出席を止めたものであり、地域独自の開催が可能な地区は、国土交通省（地方整備局等）と調整のうえ、開催準備を行った地区もありましたが、政府の緊急事態宣言があり、結果、開催できませんでした。

専門工事業の社会的経済的地位の向上のため実施している全国大会は、主催者挨拶、基調講演を収録し、建専連ホームページに配信するWEB方式による方法で開催しました。本年度のテーマは、「建設技能の見える化と評価・処遇に向けて～建設キャリアアップカードを処遇改善に繋げるために～」をテーマに、芝浦工業大学蟹澤教授に「欧米に学ぶ担い手確保と今後の目標」と題して基調講演をして頂きました。

また、建専連の理事会、企画委員会等の内部会議は、WEB等を利用しながら開催し、計画通りの開催となり必要事項の審議を行いました。昨年度（令和元年度）に立ち上げた企画委員会の下部組織である専門部会については開催を見送りました。

この他、（一社）日本建設業連合会との間で平成21年度に立ち上げた「建設スキルアップサポート制度」による助成は、本年度151名の実績となりました。

更に、ホームページ等による「職人さんミュージアム」、「専門工事業navi」等の情報提供活動と総合補償制度に係る支援事業を実施しました。

## II. 庶務事項

### 1. 会員団体の数

	令和元年度末	令和2年度末
正会員	33 団体	33 団体
特別会員	2 団体	2 団体
賛助会員	8 団体	8 団体

### 2. 総会・理事会

会議の種類	日時・場所	主な議題
第19回 通常総会	R2.6.11 書面開催	1.令和元年度収支決算承認(案)の件 2.役員改選(案)の件 3.平成30年度第17回総会決議の実行に係る重点

		<p>行動(案)の件</p> <p>4.令和元年度事業報告の件</p> <p>5.令和2年度事業計画の件</p>
第1回 理事会	R2.6.13 書面開催	<p>1. 令和元年度事業報告(案)について</p> <p>2. 令和元年度収支報告(案)について</p> <p>3.平成30年度第17回総会決議の実行に係る重点 行動(案)の件</p> <p>4.役員改選(案)について</p> <p>5.令和2年度第1回通常総会収集について</p>
第2回 理事会	R2.9.30 振興基金 会議室	<p>1.令和2年度全国大会について</p> <p>2.令和2年度国交本省、地方整備局等との意見交 換会について</p> <p>3.建設キャリアアップシステムに関する動きについて</p> <p>4.令和2年度経営革新支援研修会について</p> <p>5.令和2年度企画委員会、特別委員会について</p> <p>6.代表理事及び業務執行理事の職務執行状況 報告 等</p>
第3回 理事会	R2.12.1 振興基金 会議室	<p>1.令和3年度建専連事業(意見交換会における要 望事業)について</p> <p>2. 建設キャリアアップシステムに関する動きについ て</p> <p>3.令和2年度上半期事業及び会計報告について</p> <p>4.令和2年度建専連全国大会について</p> <p>5.令和2年度企画委員会、特別委員会について</p> <p>6.令和2年度建専連会員企業数について</p> <p>7.代表理事及び業務執行理事の職務執行状況 報告 等</p>
第4回 理事会	R3.3.17 振興基金 会議室	<p>1.令和3年度役員改選について</p> <p>2.令和3年度事業計画、予算(案)について</p> <p>3.定款改定(案)について</p> <p>4.令和2年度事業実施及び予算執行状況について</p> <p>5.代表理事及び業務執行理事の職務執行状況 報告 等</p>

### Ⅲ. 実施事業

#### 1. 建設専門業に係る施策立案のための事業

総務部会、企画委員会、特別委員会、及び企画委員会の下部委員会として専門部会を新たに設置した上で、下記の通り開催し、建設専門業に係る事業活動の企画立案及び調査研究活動を行いました。各委員会委員名簿は P16～P18 の通りです。

[総務部会]

会議の種類	日時・場所	主な議題
第 1 回 総務部会	R2.5.12 資料送付のみ	1.令和元年度事業報告(案)について 2.令和元年度収支報告(案)について 3.平成 30 年度総会決議の実行に係る重点行動(案)の件 4.役員改選(案)について 等
第 2 回 総務部会	R2.9.17 振興基金 会議室	1 令和 2 年度全国大会について 2.令和 2 年度国交本省、地方整備局等との意見交換会について 3.建設キャリアアップシステムに関する動きについて 4.令和 2 年度経営革新支援研修会について 5.令和 2 年度企画委員会、特別委員会について 等
第 3 回 総務部会	R2.11.26 振興基金 会議室	1.令和 3 年度役員改選について 2.令和 3 年度建専連事業(意見交換会における要望事業)について 3.建設キャリアアップシステムに関する動きについて 4.令和 2 年度上半期事業及び会計報告について 5.令和 2 年度建専連全国大会について 6.令和 2 年度企画委員会、特別委員会について 7.令和 2 年度建専連会員企業数について 8. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告 等
第 4 回 総務部会	R3.3.11 振興基金 会議室	1.令和 3 年度役員改選について 2.令和 3 年度事業計画、予算(案)について 3.定款改定(案)について 4.令和 2 年度事業実施及び予算執行状況について 5.代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告 等

[企画委員会]

第1回 企画委員会	R2.8.25 振興基金 会議室	1.令和2年度建専連事業活動について 2.業界に関わる動き(建設キャリアアップシステム等)について 3.令和2年度企画委員会、専門部会について 等
第2回 企画委員会	R2.10.15 振興基金 会議室	1.国交省・標準見積WG(仮称)構成員(案)について 2.大規模イベントの業界(団体)としての支援について 3.今後の建専連事業について 4.令和元年度全国大会について 等
第3回 企画委員会	R2.12.10 振興基金 会議室	1.2020年東京オリンピック・パラリンピック聖火ランナーについて 2.令和2年度専門部会について 3.令和3年度国土交通省及び地方整備局等との意見交換会「要望事項」について 等
第4回 企画委員会	R3.3.9 振興基金 会議室	1.国交省との意見交換会の要望事項・聖火ランナー応援について 2.令和3年度企画委員会について 等

[企画委員会専門部会]

第1回 グループA (労務)	R3.1.19 振興基金 会議室	*新型コロナウイルス感染症感染防止の為、開催延期
第1回 グループB (設備)	R3.1.26 振興基金 会議室	*新型コロナウイルス感染症感染防止の為、開催延期
第1回 グループC (機械)	R3.1.27 振興基金 会議室	*新型コロナウイルス感染症感染防止の為、開催延期

[特別委員会(建設技能労働者の働き方改革検討委員会)]

第1回	R2.9.7 振興基金 会議室	1.令和元年度特別委員会実施実績及びアンケート調査概要及び結果について 2.令和2年度働き方改革における週休二日制、専門工事業の適正な評価に関する調査の概要について 等
-----	--------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------

第2回	R3.1.20 振興基金 会議室	1.アンケート調査(集計速報版)について 等
-----	---------------------	------------------------

[建専連会員団体事務局長等会議]

第1回	R2.8.31 機械振興会館	1.建設キャリアアップシステムに関する最近の動きについて 2.「建設業法令順守ガイドラインの改定について」(国土交通省) 3.「専門工事企業の施工能力等の見える化評価制度と建設業適正取引推進機構の講習会について」(建設業適正取引推進機構) 4.「法定外労災補償制度・建設共済保険について」(建設業福祉共済団) 等
第2回	R3.2.10 機械振興会館	1.建設キャリアアップシステムに関する最近の動きについて 2.国土交通省、厚生労働省への要望について 3.令和3年度建専連諸行事(総会、全国大会等)について 等

## 2. 建設専門業に係る情報提供並びに研修会等の開催に関する事業

- (1) 国土交通省、厚生労働省、地方自治体など関係機関からの通達及び情報・資料等を収集整理して、会員団体へ逐次提供しました。
- (2) 「建設専門業の経営革新支援研修会」は、例年、2月から3月の間に全国10地区で開催していましたが、新型コロナウイルス感染症の状況を勘案し、中止いたしました。

## 3. 建設専門業の社会的経済的地位向上に関する啓発事業

### (1) 全国大会

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を考慮し、主催者挨拶および基調講演を事前に収録し、令和2年11月25日～30日に「建設技能の見える化と評価・処遇に向けて～建設キャリアアップカードを処遇改善に繋げるために～」をテーマに建専連ホームページにWEB公開する方式で開催しました。

基調講演は、芝浦工業大学 蟹澤教授による「英米に学ぶ担い手確保策と今後の目標」との演題でご講演いただきました。詳細についてはP19のとおりです。

## (2) 企画委員会

企画委員会では主に、今後の建専連の事業活動に関する検討を行うものとして、行動方針(案)や施策等の立案を行います。本年度も、令和元年度に下部組織として設置した、専門部会と連携して立案作業を行いました。

### ○企画委員会専門部会

本年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を勘案し、開催できませんでした。各グループにおける議論テーマは、グループA:建設キャリアアップについて、グループB:適正工期について、グループC:働き方改革についてとなっています。

## (3) 特別委員会(建設技能労働者の働き方改革検討委員会)

平成30年度に、働き方改革による週休二日制の推進について検討等を行う特別委員会を設置し、「働き方改革における週休二日制、専門工事業の適正な評価等に関する調査」を、経年に亘り調査することとしており、本年度調査の実施方法、調査結果の取り纏め方法等について、検討や分析を行い調査報告書に纏めました。

委員会において、昨年度調査の内容等について、修正や追加項目の検討を行った上で、その継続調査として会員団体を通じ、会員団体企業の週休二日制、専門工事業の適正な評価等、登録基幹技能者の能力評価と処遇、職長の能力評価と処遇、技能者の能力評価と処遇等についてアンケート調査を実施し、令和2年度版の調査報告書として取り纏めました。

なお、上記(2)、(3)の委員会のメンバーはP16～P18のとおり。

## (4) 建設スキルアップサポート制度(日建連と建専連の連携事業)

本制度も平成21年度から引き続き、(一社)日本建設業連合会と連携しながら工業高校等の在学中に技能・技術資格を取得し、かつ平成21年4月以降に建専連の会員企業に入職した者および(一社)日本建設業連合会会員の協力企業に就職した者を対象に、資格取得費用の一部を助成する事業を実施しました。

助成を実施した結果、令和2年度助成対象者は151名(累計:2,012名)となりました。

## 4. 官公庁その他関係機関に対する啓発事業

### (1) 審議会等に出席・意見具申

会議の種類	日時・場所	主な議題
第11回公共工事品質確保に関する議員連盟総会	R3.2.15 参議院議員	1.品確法の運用状況 他



〔専務理事〕	会館	
--------	----	--

(2) 「建設産業人材確保・育成推進協議会(人材協)」等への協力・協賛・出席

会議の種類	日時・場所	主な議題
第 30 回建設産業人材確保・育成推進協議会運営委員会 〔副会長〕	R2.7.31 振興基金会議室	1.令和元年度事業報告について 2.令和2年度事業計画(案)について 他
第 31 回建設産業人材確保・育成推進協議会運営委員会 〔副会長〕	R3.3.26 振興基金会議室	1.令和3年度事業計画(案)について 他
優秀施工者国土交通大臣 顕彰審査委員会 〔会長〕	R2.8.18 合同庁舎 3 号館	1.被顕彰候補者の選考について 2.顕彰式典の開催について 他

(3) その他外部の各種委員会、会議、研修会等への出席

会議の種類	日時・場所	主な議題
建設キャリアアップシステム 運営協議会 第 8 回運営 委員会 〔専務理事〕	R2.6.24 機械振興会 館	1.平成 31年度建設キャリアアップシステム事業 の実施状況について 2.建設キャリアアップシステム財源問題について 3.建設キャリアアップシステムの拡張サービス実 証実験について 他
建設キャリアアップシステム 運営協議会 第 9 回運営 委員会 〔専務理事〕	R2.7.7 振興基金 会議室	1.建設キャリアアップシステムの利用料金改定案 等について
建設キャリアアップシステム 運営協議会 第 10 回運営 委員会 〔専務理事〕	R2.7.31 書面開催	1.料金改正案、追加開発費及び今後の体制構 築について(案) 2.2020 年度建設キャリアアップシステム追加開 発について 3.コスト削減策の具体化に係る取り組み 他

建設キャリアアップシステム 運営協議会 第6回総会 〔会長、専務理事〕	R2.9.8 ミーティング スペース AP	1.現状と課題 2.料金改定案 3.2020 年度の追加開発 4.出捐の要請 他
建設キャリアアップシステム 運営協議会 第11回運営 委員会 〔上席調査役〕	R2.10.20 TKP 新橋	1.建設キャリアアップシステム運営協議会規約の 一部改正について(案) 2.建設キャリアアップシステムの運営上の目標設 定について(案) 3.令和 2 年度建設キャリアアップシステム事業 計画及び収支計画について(案) 他
建設キャリアアップシステム 運営協議会 第7回総会	R2.12.10 書面開催	1.建設キャリアアップシステム運営協議会規約の 一部改正について(案) 2.令和 2 年度建設キャリアアップシステム事業 計画及び収支計画について(案) 他
建設キャリアアップシステム 運営協議会 第12回運営 委員会 〔専務理事〕	R3.1.29 WEB 開催	1.事業者・技能者登録、就業履歴の登録状況に ついて 2. 2020 年度全体目標の達成見込みと今後の 課題について 3. 2021 年度建設キャリアアップシステム事業計 画及び収支計画の骨子(案)について 他
建設キャリアアップシステム 運営協議会 第13回運営 委員会 〔専務理事〕	R3.3.11 WEB 開催	1. 2020 年度建設キャリアアップシステム事業の 実施状況について 2. 2021 年度の建設キャリアアップシステム運営 上の目標設定について(案)について 3. 2021 年度建設キャリアアップシステム事業計 画及び収支計画(案)について 他
建設キャリアアップシステム 運営協議会 第8回総会 〔会長、専務理事〕	R3.3.16 WEB 開催	1. 2021 年度建設キャリアアップシステム事業計 画及び収支計画(案)について 他
第1回標準見積書改定 WG 〔専務理事〕	R2.11.16 経産省別館	1.本ワーキンググループの趣旨及び進め方 2.標準見積書の改定に向けた検討 他
第4回建設業社会保険推 進・処遇改善連絡協議会 〔専務理事〕	R2.6.15 TKP 赤坂	1.建設キャリアアップシステム官民施策パッケー ジの推進について 2.建設業の一人親方問題について 他

第5回建設業社会保険推進・処遇改善連絡協議会 〔専務理事〕	R3.3.19 中央合同庁舎3号館会議室	1.建設キャリアアップシステム官民施策パッケージの推進について 2.建設業の一人親方問題に関する検討会中間取りまとめについて 他
第4回中央建設業審議会工期に関する基準の作成に関するワーキンググループ 〔専務理事〕	R2.6.4 合同庁舎3号館会議室	1.第3回工期WGを踏まえた意見交換 2.工期に関する基準(案)の概要について 他
第5回中央建設業審議会工期に関する基準の作成に関するワーキンググループ 〔専務理事〕	R2.6.19 三田共用会議所	1.工期に関する基準(案)について 他
第1回建設業の一人親方問題に関する検討会 〔専務理事〕	R2.6.25 合同庁舎4号館	1.一人親方対策について 2.今後の検討会の進め方について 他
第2回建設業の一人親方問題に関する検討会 〔専務理事〕	R2.10.5 合同庁舎4号館	1.社会保険加入対策の現状 2.職種別の一人親方の実態ヒアリング 他
第3回建設業の一人親方問題に関する検討会 〔専務理事〕	R2.12.24 合同庁舎3号館	1.中間取りまとめ(素案)について 2.検討会の今後の進め方について 他

#### (4) 関係機関の事業運営等への協力

会議の種類	日時・場所	主な議題
第42回運営委員会(建設業退職金共済事業関係) 〔会長〕	R2.6.30 経団連会館	1.令和元事業年度決算(案)について 2.令和元事業年度業務実績報告書(案)について 3.今後の建退共制度について 他
第8回財務問題・基本問題検討委員会 〔専務理事〕	R2.6.30 経団連会館	1.報告
第9回財務問題・基本問題検討委員会 〔専務理事〕	R2.11.25 経団連会館	1.今後の建退共制度について 他

建設業退職金共済制度加入促進等連絡会議 〔専務理事〕	R2.10.2 AP 東京八 重洲通り	1.事業概要について 2.加入促進強化月間について他
-------------------------------	---------------------------	-------------------------------

(5) 地方整備局等との意見交換会

本年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を勘案し、意見交換会は中止し、要望書を郵送いたしました。要望事項の項目は P20 のとおりです。

(6) 地方整備局建政部長等との意見交換会

例年、全国大会に併せて開催している意見交換会は、新型コロナウイルス感染症の状況を勘案し、中止しました。

(7) 地区建専連事務局長等会議

例年、総会に併せて開催している会議は、新型コロナウイルス感染症の状況を勘案し中止しましたが、令和3年1月13日に、地方整備局等との意見交換会などについて、令和3年度の開催手法等に関する意見交換をリモートで行った。

(8) 建専連会員団体事務局長等会議

国土交通省からの情報提供や建設キャリアアップシステムに関する動き、令和2年度建専連事業の説明等を行うため、建専連の会員団体の事務局長等を対象とした会議を行いました。

(令和2年8月31日、令和3年2月10日)

(9) 建専連の広報(ホームページ)

平成22年度に当会のホームページに開設した専門工事業の職種や社会貢献事例等を紹介する「職人さんミュージアム」への令和2年度のアクセス数は9,773件となり、開設以来274,201件のアクセス数となりました。(令和3年3月末現在)

## 5. その他目的を達成するための事業

### (1) 各種受託事業等の実施

受託・助成業務名	相手先	概要
業務連携促進事業助成	(一財)建設業振興基金	令和2年度「全国大会」、「広報等一般事業」、「地域・社会貢献事業」を実施した。
働き方改革における週休二日制、専門工事業の適正な評価等に関する調査	(公財)建設業福祉共済団	建専連正会員団体の会員企業の働き方改革における週休二日制、専門工事業の適正な評価等、登録基幹技能者の能力評価と処遇、職長の能力評価と処遇、技能者の能力評価と処遇についてアンケート調査を実施した。

### (2) 総合補償制度に関する事業の実施

専門工事業者の責任施工体制を補完する財政的なバックアップとして、長期性能(瑕疵)保証制度に、第三者賠償補償制度、上乘せ労災障害補償制度を組み合わせた専門工事業補償制度について、関係会員団体傘下企業を対象に加入促進活動を行いました。

### (3) その他

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の聖火リレーのスタートとなった3月25日、南相馬市区間において「オリンピックと復興を支える建設業チーム」の団体聖火ランナーの一員として、建専連会員団体から4人が参加しました。「復興五輪」の意義を踏まえ、(一社)日本建設業連合会、(一社)全国建設業協会、(一社)全国中小建設業協会と当会の4団体10名でチームを組んで、オリンピックの成功は勿論のこと、復興に携わった方々への感謝や復興の担い手である建設業として、聖火をつなぎました。

企画委員会・特別委員会・専門部会 委員名簿

1.企画委員会

役職	団体	企業名	役職・氏名(敬称略)
委員長	全鉄筋	正栄工業(株)	代表取締役社長 岩田正吾
委員	日左連	(株)町田建塗工業	代表取締役 町田 卓大
委員	日造協	東光園緑化(株)	代表取締役社長 田丸 敬三
委員	全鉄筋	高千穂鉄筋(株)	代表取締役 樋脇 毅
委員	日本躯体	山岡建設工業(株)	代表取締役 山岡 吾郎
委員	全圧連	(株)ヤマコン	代表取締役社長 佐藤 隆彦
委員	日塗装	朝陽塗装工業(株)	代表取締役社長 加藤 憲利
委員	全室協	丸日産業(株)	取締役会長 武藤 俊夫
委員	日本型枠	練成工業(株)	代表取締役社長 岡田 宏章

2.特別委員会

役職	団体・企業名等	役職・氏名(敬称略)
委員長	芝浦工業大学 建築学部建築学科	教授 蟹澤 宏剛
委員	(一財)建築コスト管理システム研究所	総括主席研究員 岩松 準
委員	(一社)全国クレーン建設業協会	専務理事 井上 信吾
委員	(一社)全国道路標識・標示業協会	専務理事 小池 昭広
委員	(一社)全国建設室内工事業協会	事務局長 石田 潤一
委員	新妻鋼業(株)(全鉄筋)	代表取締役 新妻 尚祐
委員	佐々木建設(株)(日本型枠)	代表取締役 堀 雄二
委員	(株)河野塗装店(日塗装)	代表取締役社長 河野 敬幸

### 3. 企画委員会に係る専門部会(グループA)

役職	団体	企業名	役職・氏名(敬称略)
リーダー	日本躯体	山岡建設工業(株)	代表取締役 山岡 吾郎
委員	全鉄筋	高千穂鉄筋(株)	代表取締役 樋脇 毅
委員	日左連	(株)町田建塗工業	代表取締役 町田 卓大
委員	日本型枠	練成工業(株)	代表取締役社長 岡田 宏章
委員	日夕煉	大野タイル工事店	代表 大野 繁幸
委員	日板協	(有)國松工業	代表取締役 國松 慶誇
委員	日鷺連	(有)栗栖工業	相談役 栗栖 龍男
委員	全圧連	(株)グイイチ	代表取締役 土井 克也

### 4. 企画委員会に係る専門部会(グループB)

役職	団体	企業名	役職・氏名(敬称略)
リーダー	日塗装	(株)河野塗装店	代表取締役社長 河野 敬幸
委員	日塗装	朝陽塗装工業(株)	代表取締役社長 加藤 憲利
委員	全室協	丸日産業(株)	取締役会長 武藤 俊夫
委員	全防協	中村瀝青工業(株)	代表取締役社長 中村 陽祐
委員	マスチック	(株)久野建装	代表取締役社長 鈴木 浩之
委員	ウレ断協	(株)マツモト工業所	代表取締役社長 松本 洋幸
委員	NGS	(株)ワールド工業	代表取締役 高橋 敦也
委員	日金協	(株)デフプラン	代表取締役 江田 克紀
委員	ジェイシフ	(株)石野内装	代表取締役社長 石野 哲也
委員	日装連	竹内装飾(株)	代表取締役社長 竹内 剛
委員	全管連	(有)丸善興業	代表取締役社長 太田 勝晶

## 5. 企画委員会に係る専門部会(グループC)

役職	団体	企業名	役職・氏名(敬称略)
リーダー	全圧連	(株)ヤマコン	代表取締役社長 佐藤 隆彦
委員	日造協	東光園緑化(株)	代表取締役社長 田丸 敬三
委員	全ク協	東邦重機開発(株)	取締役社長 高村 伸彦
委員	ダイヤモンド	(株)日本コンクリートカッティング	代表取締役社長 村田 啓輔
委員	全標協	宮川興業(株)	代表取締役社長 宮川 訓
委員	日機協	日起建設(株)	取締役副社長 坂野 功司
委員	日基協	菱建基礎(株)	代表取締役社長 櫻林 美津雄
委員	造園連	(有)光緑園	代表取締役 川合 宏治
委員	全基連	ポーター製造(株)	代表取締役社長 磯田 喜久雄